



「時間を大切に使う」ということ

校長 鍋谷 義 継

40日間という長い夏休みが終わり、校舎には子供たちの明るく元気な声が響き渡っています。こうして全校の子供たちが元気に2学期を迎えられたことを本当にうれしく思います。

さて、2学期は、1学期、2学期、3学期とある中で授業日数が最も長い学期です。そのためじっくりと学習に取り組むための時間が確保しやすい学期といえます。2学期の教育活動を充実させるためにも、本校の学校教育目標である「じりつする子供の育成」を目指して子供たちと共に歩んでいこうと教職員一同、心を新たにしているところです。2学期を迎えるに当たり、始業式の式辞では次のような話をしました。

2学期を迎えるに当たり、「時間を大切に使う」ということについて少しお話をしたいと思います。

たぶん、皆さんはほとんど知らないと思いますが、日野原重明（ひのはら・しげあき）先生と言って、昨年の7月に105歳で亡くなるまで、現役の医師を務められた方がおられました。また、先生は医師としての仕事のほかに「命」ということについて本をお書きになったり、ご講演をなさったりしていました。

「命」という言葉はよく耳にしますが、みなさん、「命」って目に見えますか。「命」って何ですか。そう聞かれると、なかなか答えることは難しいものです。日野原先生は、「命」とは「自分もっている時間を大切に使うことです」と言っておられました。

日野原先生が言われた「時間を大切に使う」とは、どういうことでしょうか。皆さんは、今朝、起きてから学校に来るまでに何をしましたか。朝ご飯を食べたり、歯みがきをしたりしたことでしょうか。もちろん、トイレにも行ったかもしれませんが、よく考えると、今、言ったことは全て自分のために使っている時間ですね。

それでは、皆さんは、自分以外の人のために時間をどのくらい使っていますか。例えば、学校で掃除をする、或いは家でお手伝いをする、花に水をあげる、これらのことは自分以外の人や物のために時間を使っていることになります。人や物のために自分の時間を使える人は思いやりのある人だと思います。自分のためだけに時間を使うのではなく、自分には何ができるのかを考え、自分以外の命あるもののために時間を使う人になってくれたらうれしく思います。

2学期には、日頃の学習だけでなく運動会をはじめ、遠足、持久走記録会、音楽集会など、たくさんの行事があります。そのような活動にどのように取り組むか、それも時間を大切に使うことにつながります。楽しいことが多いと思いますが、時にはうまくいかないことがあるかもしれません。そんなときこそ、自分のことばかりでなく他の人のことも考えて、行動するよう心がけてほしいと思います。

特に6年生の皆さんにとっては、どれも小学校生活最後の行事となります。時には人のために時間を使うことを考え、活動を通して最高学年らしさを発揮してほしいと思います。そして、毎日の学校生活が皆さんにとって、すてきな思い出になることを願っています。

自分のためだけに時間を使うのではなく、自分には何ができるのかを考え、自分以外の命あるもののために意識して時間を使うことは、子供たちの成長にとっても大切なことではないでしょうか。私たち大人は指示するばかりでなく、子供たちが自ら考え、よりよい方向に向けて行動できるようにしていくことで本当の成長につなげていきたいものです。今学期もよろしくお願いいたします。

2学期の主な行事です（ご確認ください）

- ◇ 9月15日(土) 入善小学校運動会 *雨天順延 9/18(火)振替休業日
- ◇ 9月28日(金) 遠足(全日)
- ◇ 10月27日(土) 学習参観(2・3限)、環境整備・遊休品即売会(午後)
*10/29(月)振替休業日
- ◇ 11月7日(水) 富山県小学校教育課程研究集会(東部)(児童休業日)
- ◇ 11月16日(金) 音楽集会(午後14:00～ コスモホール)
- ◇ 12月12日(水)～14日(金) 個別懇談会
- ◇ 12月21日(金) 第2学期終業式